

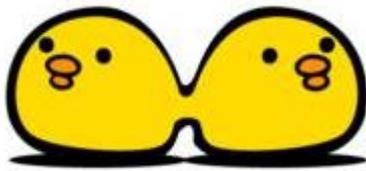
第2章

5. 生物のふえ方

◆1. 生殖

生物が自分と同じ種類のなかまを作り、個体を増やすはたらきを【①】という。

【②】
雌雄に関係なく、自分自身の細胞だけで子孫をつくる。



【③】
雌雄の区別があり、雌雄が揃って受精することで子孫をつくる。



(1) 無性生殖

1. 【④】

からだが2つに分かれて2つの新しい個体ができること。

単細胞生物の多くと多細胞生物の一部がこの増え方。

Ex.) ゾウリムシ、アメーバ、ミカヅキモなど

2. 【⑤】

からだの一部がふくれて分離し、新しい個体ができること。

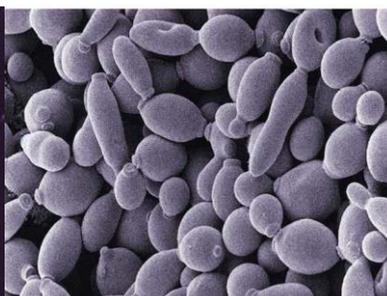
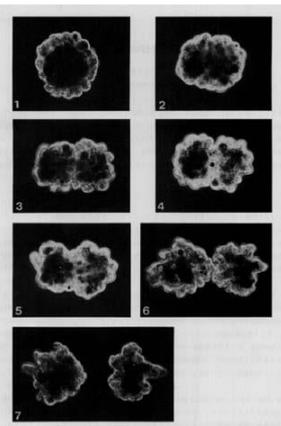
Ex.) ヒドラ、酵母菌などの菌類

3. 【⑥】

植物のからだの一部がふくれて分離し、新しい個体ができること。

切り取った枝や葉を土や水にさして、新しい個体をつくる。

Ex.) ジャガイモ、チューリップ、ヤマノイモなど

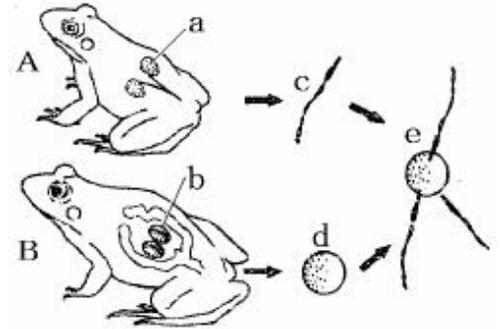


◆ 2. 有性生殖

(1) 動物の有性生殖

①動物の生殖細胞

精子は雄の【⑦】でつくられ
卵は雌の【⑧】でつくられる。

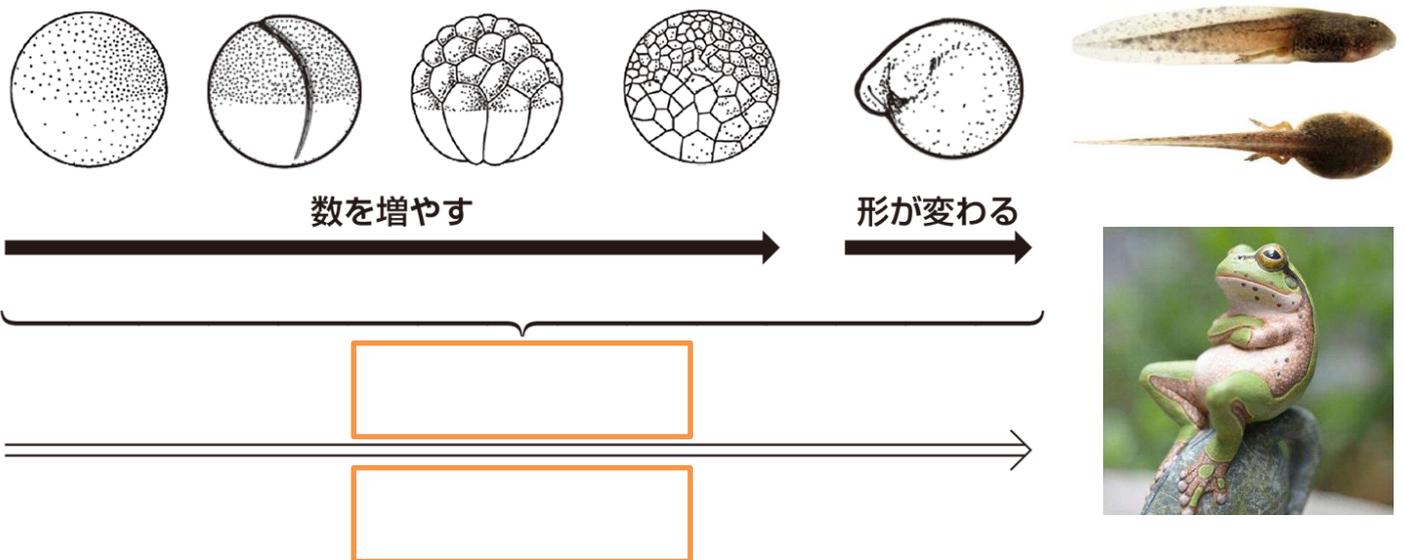


②受精と受精卵

精子の核と卵の核が合体することを【⑨】という。
受精の結果生じる細胞を【⑩】という。

③発生

受精卵 → (細胞分裂を何度も繰り返す) → 【⑪】になる。
この過程のことを【⑫】という。



(3) 生殖細胞の作り方

生殖細胞(卵や精子、卵細胞や精細胞)を作るときに起こる細胞分裂を【⑬】という。

その名の通り、できた生殖細胞の染色体の数は体細胞の半分になる。

有性生殖	無性生殖

(4) 遺伝と遺伝子

生物のもつ形や性質を【⑭】といい

親のもつ形質が子に伝わることを【⑮】という。

形質は染色体の中の【⑯】によって伝えられる。



	有性生殖	無性生殖
増殖の効率		
遺伝子の構成	両親のものを半分ずつ受けつぐので、いろいろな組み合わせができる。親や兄弟と同じではない。	
形質		新個体の形質は親とまったく同じ。 → という。
環境に対する適応力		